

収支報告書

令和 8 年 4 月 30 日

山口県議会議長 様

報告者 住所 宇部市大字東須恵1903-1
氏名 二木 健治

政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

収 入		4,200,000 円		
費 目	金 額 (円)	内 訳	内訳金額(円)	
支 出	調査研究費	519,915	自動車リース代	356,100
			視察代	163,815
	研修費	0		
	会議費	0		
	資料費	118,800	新聞代	118,800
	広報費	2,476,484	議会報告制作費	1,410,885
			議会報告折り込み料	944,724
			議会報告郵送料	120,875
	事務所費	159,078	水道光熱費	159,078
事務費	39,833	コピー代	21,061	
		通信費	18,772	
人件費	885,890	人件費	885,890	
合計	4,200,000			
残 余			0 円	

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費			整理番号	1-1
事業内容	自動車リース代				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	5月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	6月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	7月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	8月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	9月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	10月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	11月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	12月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	1月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	2月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	3月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	《合計》	712,212	356,100		
按分割合 積算根拠	政務活動 (50%) 政務活動 (50%) + その他の活動 (50%)				※月毎に按分 (1円未満切捨)

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	1 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
07-04-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 4月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-05-02	029 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 5月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-06-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 6月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-07-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 7月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-08-04	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 8月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-09-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 9月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-10-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 10月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-11-04	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 11月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
07-12-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 12月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
08-01-05	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 1月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
08-02-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 2月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
08-03-02	511 RT	*59,351	TF)トヨ77アイナス 3月分 59,351 ÷ 2 = 29,675 円
自動車リース代 1/2 按分 合計 356,100 円			

国内・海外視察、研修報告書

議員名 二木 健治

費目	調査研究費	整理番号	2-1	
視察・研修の目的	厚東川支流の大坪川の内水面浸水被害を防ぐ為にマスプロダクト型排水ポンプの実証試験が行われている江の川の視察を行った。			
年月日	令和8年1月6日～1月7日			
場所	広島県三次市秋町亀甲地先			
相手先	三次国道河川事務所河村昭副所長他			
行程	新山口駅→三次駅→三次国道河川事務所の車で現地に移動			
内容・結果等	<p>三次国道河川事務所の案内で江の川に設置されたマスプロダクト型排水ポンプ場の視察を行った。従来の排水ポンプは大型船舶のエンジンを使用し、河川の川幅や流量に合わせてオーダーメイドで製作される為に制作費が高価で故障時の部品の取り換え等メンテナンスにも高額な費用が掛かっていた。そこで既製品のトラックのエンジンを河川の川幅や流量に合わせて複数機設置し、安価な排水ポンプの実証試験が行われている。</p> <p>当該ポンプ場のエンジンは三菱自動車デリカ2.2Lのディーゼルエンジンを使用し、排水能力は毎秒1tで、令和6年11月2日の出水時に排水ポンプが初稼働し、家屋の浸水被害を防ぎ一定の効果が発揮された。実証試験の成果を注視し、今後大坪川への設置を要望したい。</p>			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	JR乗車券	13,840	13,840	往復(新山口⇄三次)
	宿泊代	7,150	7,150	ホテルルートイン三次
	《合計》	20,990	20,990	
按分割合 積算根拠	20,990×10/10=20,990			

- 注) 1 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修について本報告書を作成すること
- 2 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること
- 3 パック料金を利用した場合は、経費内訳の内容欄に、交通費、宿泊費等の項目内訳を記入すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	2-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			

領 収 書

Receipt
 領収年月日 2026-1-6 登録番号: T1120001059675
 金額 ¥13,840 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類
 (10533 4枚)
 西日本旅客鉄道株式会社
 新山口駅N3発行 20534-01

印紙税申告納
 付につき大淀
 税務署承認済

領 収 書

No.000190046 HOST 26/01/06 17:31
 登録番号: T7100001039005

[チェックイン]

部屋No. 311

ご利用期間 2026/01/06~2026/01/07
 ご利用日 2026/01/06

お名前 二木 健治 様

ご請求額 7,150円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン三次駅前

広島県三次市十日市南一丁目5番5号
 TEL 060-5211-5820
 FAX 0824-65-0072

印紙税申告納
 付につき上田
 税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
 作成地: 長野県上田市中中央3丁目8番7号

◆ご利用明細◆

ご請求額 7,150円

室料 (1泊分) 7,150円
 (10%税込 対象合計 7,150円
 内消費税 650円)

ご入金額 7,150円 (現金)

国内・海外視察、研修報告書

議員名 二木健治

費目	調査研究費	整理番号	3-1	
視察・研修の目的	岩国基地に関する意見交換等を行うため、海上自衛隊横須賀基地を訪問するとともに防衛省で防衛大臣他との意見交換を行った。			
年月日	令和8年3月26日（木）～27日（金）			
場所	1, 海上自衛隊横須賀基地 2, 防衛省			
相手先	1, 海上自衛隊横須賀地方総監 八木浩二 海将 同 横須賀地方総監部幕僚長 山口宜久 海将補 2, 防衛省整備計画局防衛計画課 加藤智史 先任部員 同 地方協力局地方協力課 北原由尚 先任部員 3, 小泉進次郎防衛大臣、吉田真次防衛政務官			
行程	3/26（木）山口宇部空港→羽田空港→①海上自衛隊横須賀基地 （宿泊：京王プレッソイン浜松町） 3/27（金）②防衛省意見交換→③防衛大臣訪問→羽田空港→山口宇部空港			
内容・結果等	海上自衛隊横須賀基地においては、施設の概要および取組についての説明を受け、質疑応答や意見交換を行った。 防衛省においては、米国海兵隊岩国基地の任務等について説明を受け、意見交換を行うとともに、防衛大臣と面会し、交付金に係る財源措置やFCLP等の訓練の動向等について要望や意見交換を行った。 今回視察したことを県議会審査の参考にしたい。			
経費内訳	項目	金額（円）	充当額（円）	内容
	航空券代	73,200	73,200	山口宇部空港⇄羽田空港
	宿泊費	27,000	27,000	京王プレッソイン浜松町
	借上車両代	41,485	41,485	2日間バス借上げ
	有料道路代・駐車料金	1,140	1,140	
	《合計》	142,825	142,825	
按分割合積算根拠	142,825円×10/10=142,825円			

- 注) 1 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修について本報告書を作成すること
2 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること
3 パック料金を利用した場合は、経費内訳の内容欄に、交通費、宿泊費等の項目内訳を記入すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	3-2
----	-------	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。

領 収 書

(株)エヌティーエー旅行 周南支店

適格請求書登録番号: T925000100

領収書管理番号 300 75

発行日 2026年4月8日

二木 健治 様

このたびは、当社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

下記金額、正に領収いたしました。

¥142,825

(総額)

但し 令和8年3月26日~27日視察経費として
航空券代73,200円 宿泊代27,000円 借上車両代
41,485円 有料道路代・駐車料金1,140円

ご入金内訳

現金	142,825
クレジット	0
商品券	0
お振込	0
その他	0

ご請求金額内訳	金額(税抜)	消費税
消費税10%対象分	129,841	12,984
消費税8%対象	0	0
不課税対象分	0	0
非課税対象分	0	0
合計	129,841	12,984

発行店舗

周南支店

〒745-0032

山口県周南市銀座1-31 TOKUYAMA DECK 1階

TEL:0834-34-0266

取扱担当者



費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1	
事業内容	新聞購読料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	
	日経新聞	44,000	44,000	
	山口新聞	35,200	35,200	
	宇部日報	35,200	35,200	
	宇部日報デジタル	4,400	4,400	
		118,800	118,800	
	按分割合 積算根拠	100%充当		

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	1 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
07-05-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-06-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-07-28	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-08-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-09-29	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-10-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-11-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
07-12-29	029 RT	*10,800	DF.シツアツ
08-01-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
08-02-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
08-03-27	511 RT	*10,800	DF.シツアツ
新聞代 合計 118,800 円			

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1	
事業内容	県政ニュース印刷・折込代 Vol.39 Vol.40			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	印刷代 Vol39	719,840	712,641	77,000部
	折込代 Vol39	482,460	477,635	75,440部
	郵送代	61,916	61,296	626通
	印刷代 Vol40	719,840	698,244	77,000部
	折込代 Vol40	481,536	467,089	75,300部
	郵送代	61,422	59,579	1,470通
		2,527,014	2,476,484	
	按分割合 積算根拠	VOL39 99%充当 VOL40 97%充当		

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例:ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報
告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通
機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告
書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満た
さない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			

領 収 証 二木 健治 様 No. _____

★ ¥719,840-
 但し 県政ニュース vol.39 制作代として
 2025年 9月 12日 上記正に領収いたしました



内訳	
金額	
消費税額等	() %



株式会社ヨシイ・デザイン
 〒755-0067 山口県宇部市
 キヤメロット
 TEL. 0836-32-0804 FAX. 0836-32-0805
 登録番号 T4250001004079



ご利用明細 山口銀行

毎度、山口銀行をご利用いただきありがとうございます。
 ただいまお取引いただきました明細は下記のとおりでございます。

お取扱日	07-09-08	お取引内容	IC
取扱店番号	511	口座番号	*****
(機構) (店番号)	51730 01	お取引金額	¥482,460
コード	時刻	お取引後残高	
(ご案内) 取引種番	0210	手数料	¥220
お振込内容	カ)ウハニツホウシヤ 様へ		
ご依頼人	フタツキケンシ 様		

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。

領収書

二木 けんじ 様

[別納引受]
区内特別基 (定) 17.5g
@96 496通 ¥47,616

小計 ¥47,616

第一種定形 17.5g
@110 130通 ¥14,300

小計 ¥14,300

郵便物引受合計通数 626通
課税計(10%) ¥61,916
(内消費税等(10%) ¥5,628)
非課税計 ¥0

合計 ¥61,916
お預り金額 ¥65,000
おつり ¥3,084

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 8月 6日 16:01
発行No. 250806A2959 端N79箱11
連絡先: 宇部中野郵便局
TEL:0836-43-1500

領収書

二木 けんじ 様

[別納引受]
区内特別基 (定) 17.5g
@96 492通 ¥47,232

小計 ¥47,232

第一種定形 17.5g
@110 129通 ¥14,190

小計 ¥14,190

郵便物引受合計通数 621通
課税計(10%) ¥61,422
(内消費税等(10%) ¥5,583)
非課税計 ¥0

合計 ¥61,422
お預り金額 ¥61,422

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 1月23日 9:45
発行No. 260123A7817 端N79箱11
連絡先: 宇部中野郵便局
TEL:0836-43-1500

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-4
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <p>※領収書に宛名の無いものは三木健治宛のものに相違ありません。</p>			

領 収 証 三木 健治 様 No. _____

★ 7,719,840-

但し 果政ニース vol.40 制作代として

2026年 1月 28日 上記正に領収いたしました



内訳
 税抜金額
 消費税額等 (%)



株式会社ヨシイ・デザイン
 〒755-0067 山口県宇部市
 キャメロッツ
 TEL. 0836-32-0804 FAX. 0836-32-0805
 登録番号 T4250001004079



ご利用明細



毎度、山口銀行をご利用いただきありがとうございます。
 ただいまお取引いただきました明細は下記のとおりでございます。

お取扱日		お取引内容	
08-02-10		お支払 IC	
取扱店番号	取引銀行番号	取引店番号	口座番号
511			*****
(種別) (通帳号)	お取引金額		
53099 01	¥481,536		
コード	時刻	お取引後残高	
	12時6分		
(ご案内) 取引種番	手数料	おつり	
0189	¥220		

お振込内容

カ)ウヘ"ニツホ"ウシヤ 様へ

ご依頼人
 フタツキ"ケンシ" 様

費目別支出内容一覧表

議員名 二木健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・ 事務所費 ・事務費・人件費	整理番号	1-1	
事業内容	水道料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	5・6月分	7,628	3,814	7,628×1/2
	7・8月分	7,273	3,636	7,273×1/2
	9・10月分	4,281	2,140	4,281×1/2
	1・2月分	2,860	1,430	2,860×1/2
	《合計》	22,042	11,020	✓
	按分割合 積算根拠	<u>政務活動(50%)</u> 政務活動(50%)+その他の活動(50%) ※支出毎に按分(1円未満切捨)		

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例:ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
07-06-17	511 RT	*7,628	カ"スイ"ウ 5・6月分 $7,628 \times 1/2 = 3,814$ 円
07-08-18	511 RT	*7,273	カ"スイ"ウ 7・8月分 $7,273 \times 1/2 = 3,636$ 円
07-10-17	511 RT	*4,281	カ"スイ"ウ 9・10月分 $4,281 \times 1/2 = 2,140$ 円
08-02-17	511 RT	*2,860	カ"スイ"ウ 1・2月分 $2,860 \times 1/2 = 1,430$ 円
水道料 1/2 按分 合計 11,020 円			

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	2-1
事業内容	電気料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	4月分	27,071	13,535	27,071×1/2
	5月分	13,392	6,696	13,392×1/2
	6月分	12,105	6,052	12,105×1/2
	7月分	16,038	8,019	16,038×1/2
	8月分	20,691	10,345	20,691×1/2
	9月分	17,718	8,859	17,718×1/2
	10月分	10,569	5,284	10,569×1/2
	11月分	19,182	9,591	19,182×1/2
	12月分	33,876	16,938	33,876×1/2
	1月分	49,483	24,741	49,483×1/2
	2月分	41,164	20,582	41,164×1/2
	3月分	34,833	17,416	34,833×1/2
	《合計》	296,122	148,058	
按分割合 積算根拠	<p style="text-align: center;">政務活動(50%)</p> <p>政務活動(50%)+その他の活動(50%) ※月毎に按分(1円未満切捨)</p>			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例:ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	2-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
16 07.04.25	電気	*27,071	04カ"ツテ"ントウ 4月分 27,071×1/2=13,535 円
23 07.05.27	電気	*13,392	05カ"ツテ"ントウ 5月分 13,392×1/2=6,696 円
4 07.06.26	電気	*12,105	06カ"ツテ"ントウ 6月分 12,105×1/2=6,052 円
9 07.07.28	電気	*16,038	07カ"ツテ"ントウ 7月分 16,038×1/2=8,019 円
15 07.08.27	電気	*20,691	08カ"ツテ"ントウ 8月分 20,691×1/2=10,345 円
1 07.09.29	電気	*17,718	09カ"ツテ"ントウ 9月分 17,718×1/2=8,859 円
7 07.10.28	電気	*10,569	10カ"ツテ"ントウ 10月分 10,569×1/2=5,284 円
13 07.11.28	電気	*19,182	11カ"ツテ"ントウ 11月分 19,182×1/2=9,591 円
18 07.12.25	電気	*33,876	12カ"ツテ"ントウ 12月分 33,876×1/2=16,938 円
6 08.01.28	電気	*49,483	01カ"ツテ"ントウ 1月分 49,483×1/2=24,741 円
10 08.02.27	電気	*41,164	02カ"ツテ"ントウ 2月分 41,164×1/2=20,582 円
18 08.03.27	電気	*34,833	03カ"ツテ"ントウ 3月分 34,833×1/2=17,416 円
電気料 1/2 按分 合計 148,058 円			

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1		
事業内容	コピー使用料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	5月分	6,669	3,334	6,669×1/2	
	6月分	3,962	1,981	3,962×1/2	
	7月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	8月分	5,193	2,596	5,193×1/2	
	9月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	10月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	11月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	12月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	1月分	3,514	1,757	3,514×1/2	
	2月分	2,805	1,402	2,805×1/2	
	3月分	5,962	2,981	5,962×1/2	
	《合計》	42,130	21,061		
按分割合 積算根拠	政務活動 (50%) 政務活動 (50%) + その他の活動 (50%) ※月ごとに按分 (1円未満切り捨て)				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	1 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
07-05-07	511 RT	*6,669	SMBC(75)ファイル
07-06-06	511 RT	*3,962	SMBC(75)ファイル
07-07-07	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
07-08-06	511 RT	*5,193	SMBC(75)ファイル
07-09-08	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
07-10-06	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
07-11-06	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
07-12-08	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
08-01-06	511 RT	*3,514	SMBC(75)ファイル
08-02-06	511 RT	*2,805	SMBC(75)ファイル
08-03-06	511 RT	*5,962	SMBC(75)ファイル
			5月分 6,669×1/2=3,334 円
			6月分 3,962×1/2=1,981 円
			7月分 2,805×1/2=1,402 円
			8月分 5,193×1/2=2,596 円
			9月分 2,805×1/2=1,402 円
			10月分 2,805×1/2=1,402 円
			11月分 2,805×1/2=1,402 円
			12月分 2,805×1/2=1,402 円
			1月分 3,514×1/2=1,757 円
			2月分 2,805×1/2=1,402 円
			3月分 5,962×1/2=2,981 円
コピー代 1/2 按分 合計 21,061 円			

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	2-1		
事業内容	固定電話使用料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	5月分	6,263	3,131	6,263×1/2	
	7月分	6,210	3,105	6,210×1/2	
	9月分	6,228	3,114	6,228×1/2	
	11月分	6,247	3,123	6,247×1/2	
	1月分	6,212	3,106	6,212×1/2	
	3月分	6,386	3,193	6,386×1/2	
		《合計》	37,546	18,772	
	按分割合 積算根拠	政務活動 (50%) 政務活動 (50%) + その他の活動 (50%) ※支出ごとに按分 (1円未満切り捨て)			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
※領収書に宛名の無いものは二木健治宛のものに相違ありません。			
	21 07.05.15	電話	*6,263
	7 07.07.15	電話	*6,210
	22 07.09.16	電話	*6,228
	11 07.11.17	電話	*6,247
	1 08.01.15	電話	*6,212
	16 08.03.16	電話	*6,386
			6,263×1/2=3,131 円
			6,210×1/2=3,105 円
			6,228×1/2=3,114 円
			6,247×1/2=3,123 円
			6,212×1/2=3,106 円
			6,386×1/2=3,193 円
固定電話使用料 1/2 按分 合計 18,772 円			

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費			整理番号	1-1
事業内容	事務所職員給与				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	200,000	100,000	1名	
	5月分	200,000	100,000	1名	
	6月分	200,000	100,000	1名	
	7月分	200,000	100,000	1名	
	8月分	200,000	100,000	1名	
	9月分	200,000	100,000	1名	
	10月分	200,000	100,000	1名	
	11月分	200,000	100,000	1名	
	1月分	78,000	39,000	1名	
	2月分	87,000	43,500	1名	
	3月分	27,000	3,390	1名 27,000円の内 3,390円を充当	
	《合計》	1,792,000	885,890		
按分割合 積算根拠	政務活動(50%) 政務活動(50%) + その他の活動(50%)			月毎に按分 (1円未満切捨)	

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年4月分給与として

令和7年4月30日 上記正に領収いたしました

[Redacted signature]

人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年5月分給与として

令和7年5月31日 上記正に領収いたしました

[Redacted signature]

人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-3
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年6月分給与として

令和7年6月30日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年7月分給与として

令和7年7月31日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-4
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年8月分給与として

令和7年8月31日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年9月分給与として

令和7年9月30日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-5
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年10月分給与として

令和7年10月31日 上記正に領収いたしました

[Redacted signature]

人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和7年11月分給与として

令和7年11月30日 上記正に領収いたしました

[Redacted signature]

人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-6
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 78,000-

但し 令和8年1月分アルバイト代として

令和8年1月31日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 39,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 87,000-

但し 令和8年2月分アルバイト代として

令和8年2月9日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 43,500 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-7
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 15,000-

但し 令和8年3月7日分アルバイト代として
令和8年3月7日 上記正に領収いたしました



領 収 証

二木 健治 様

¥ 12,000-

但し 令和8年3月23日分アルバイト代として
令和8年3月23日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 13,500 円充当

二木けんじ
県政NEWS

三世代が住み良い山口県づくり

残暑お見舞い申し上げます。
皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

元山口県議会副議長
山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長

二木 健治

さて現下の県内経済は、コロナ禍を乗り越えて緩やかに回復していますが米国のトランプ関税が自動車など輸出産業に及ぼす影響など先行きが不透明な状況にあります。さらに長引くロシアのウクライナ侵攻に伴う原油高や食料品の高騰など県民の生活に大きな影響を及ぼしています。

を含む11億5000万円を補正予算を計上しています。又、公立・私立高等学校の就学支援金の所得制限を撤廃し、さらに低所得世帯の教育費負担の軽減を図るため国公立高等学校等における奨学給付金を拡充しました。

その為、山口県では令和7年度当初予算において国の経済対策に呼応した光熱費等高騰対策支援や食料品費高騰対策支援、給食費等価格差対策支援、公共交通燃料価格高騰対策支援、肥料価格高騰対策支援、配合飼料価格高騰対策支援、酪農経営緊急支援など多岐にわたる物価高騰対策に取り組んでいます。

こうした物価高騰対策や県内産業の振興を図り、県内経済の活性化に努めてまいります。経済の語源は「経世済民」で「世の中を治め、民を救う」との意味があります。まさに政治の要諦です。「経世済民」の精神を忘れず、今後とも県民目線で県民の皆様へ寄り添い、「三世代が住み良い山口県づくり」に取り組みまいります。皆様のご理解ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

さらに6月議会においても国の電気・ガス料金支援に呼応し、LPGガス料金や特別高圧を受電する中小企業者等の電気料金の高騰分を支援するための4億8000万円

三世代が
住み良い
山口県づくり
Creating Livable Chies



2025.6.23

自民党代表質問「抜粋」

6月県議会定例会



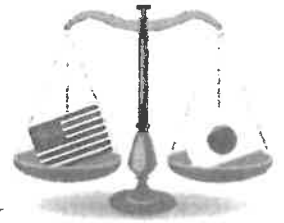
Q1 持続的な経済成長を実現する強靱な産業の構築について

ものづくり産業が県経済の礎との認識のもと、米関税措置や物価高、人手不足など、経済成長を阻む高い壁が立ちはだかる中で、それを乗り越え、持続的な経済成長を実現する強靱な産業の構築に向け、県は今後どのように取り組まれるのか、ご所見を伺う。

A：村岡副政知事

本県の高いポテンシャルを活かした取組を推進
本県の産業力強化に向け、企業誘致での設備投資額が2年連続で過去最高と、取組の成果が着実に現れています。一方で、長引く物価高や人手不足に加え、米国の関税措置により、自動車産業、ものづくり産業、近年、輸出が伸びている農林水産業など、幅広い分野への影響が懸念されます。このため、持続的な経済成長を実現する強靱な産業の構築が重要と考え、関税や物価高への対応に加え、本県経済のエンジンとなる産業力の強化や、源泉となる産業人材の確保・育成に重点的に取り組むこととしています。まず、関税については、直ちに庁内連絡会議を立ち上げ、県内への影響やニーズの把握等に努め、県や支援機関等による特別相談窓口での相談対応や県制度融資による支援を行うほか、先日、県議会とともに、国に、地域経済の維持や影響最小化のための支援等を要望したところで。また、国の関税対策に呼応し、エネルギーの価格上昇の影響を受ける中小企業者等に対し、特別高圧の電気料金高騰分等を支援するなど、今回の補正予算に所要の経費を計上したところであり、引き続き、国や関係機関等と連携しながら、対応に万全を期してまいります。次に、産業力の強化について、本県産業の舞台骨であるコンビナートの脱炭素化に向け、全国に先駆けた次世代燃料への転換やサプライチェーン構築に向けた取組等が加速するよう、経済的支援の確保や規制緩和の提案等、新た

な国の制度も活用しながら、企業の挑戦を後押しします。また、半導体等の成長分野の育成・集積について、本県の優れた立地環境や優遇制度に加え、台湾との協力関係も活用した誘致活動の展開や、企業や大学等の先進的な研究開発への支援と県内での事業化の推進など、本県の高いポテンシャルを活かした取組を進めます。さらに、海外への売り込みについては、県内企業によるASEAN等をターゲットとした戦略的な事業拡大への支援、農林水産物等の輸出やインバウンドの拡大等により、海外の活力をしっかりと取り込んでいきます。加えて、産業人材の確保・育成については、若者の県内就職・定着が進むよう、本県への移住や就業等を一体的に支援する相談拠点を福岡に新設するなど、県内企業の情報発信や就職支援体制を一層強化していきます。また、初任給や若年層の賃金について、4%以上の引き上げを実施した中小企業等に対し奨励金を支給するなど、賃上げを契機とした企業の魅力向上や人材確保・定着に向けた取組を強力に後押ししていきます。私は国の経済対策に呼応し、本県の持続的な経済成長を実現する強靱な産業の構築に、全力で取り組んでまいります。



Q2 持続可能で強い農業の育成について

昨今の米の供給不足や価格上昇により、国も政府備蓄米の放出をしているが、依然、米の価格は前年同期と比べ高水準にあり、深刻な状況である。将来にわたって持続可能で強い農業の育成に向けてどう県は取組むのか？

A：村岡副政知事

米をはじめ、食料の安定供給は極めて重要
県民の安心安全で豊かな暮らしを実現する上において、米をはじめとした食料の安定供給は極めて重要です。このため、農業の担い手の確保・育成を強化するとともに、食料の安定供給の確保に向け、生産性と持続性を両立した「強い農業の育成」に取り組んでまいりました。

一方で、我が国のカロリーベースの食料自給率は、令和5年度で38%と、近年低い水準で推移しており、食料安全保障の確保が懸念されます。このため、国は、新たな基本計画において、農業の構造転換を集中的に推進するとともに、先般、閣議決定された、骨太の方針においても「農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安全保障の確保」を実現するとしています。



2025
[令和7年1月・6月]
活動報告



1月11日：宇部市消防出初式
消防出初式が挙行され、長年消防活動に功績のある若狭の授賞式がありました。皆様に感謝申し上げます。



1月29日：与那国駐屯地を視察
与那国駐屯地を視察、台湾が目の前の先にあり台湾海峡の緊張をひしひしと感じました。



3月1日：宇部リーグ創立30周年式典
社会人バスケットボール宇部リーグ創立30周年記念式典を宇部ホテル宇部で開催。これからも盛り上げてまいります。



3月16日：茶道真千家決交会宇部支部
茶道真千家決交会宇部支部・青年部の総会が宇部市男女共同参画センターで開催。引き続き令和7年8年度支部長を務めることになりました。

また、価格高騰が続く主食用米については、本年3月から、政府備蓄米の放出を段階的に行っており、6月5日には関係閣僚会議を設置し、価格高騰原因の検証を基に、価格安定化や生産力向上等に係る対策の検討が始まっています。

こうした中、県では、去る6月12日の政府要望において、県議会とともに農林水産省を訪問し、食料の安全保障の実現に係る要望を行ったところです。今後は、国の動向等を踏まえつつ、食料の安定供給の確保に向けて、これまでの取組の更なる充実・強化を進めてまいります。

具体的には、まず、持続可能で強固な食料供給基盤を構築するため、市町が策定した地域計画において、農地の受け皿となる集落営農法人等の

再編を支援するとともに、他業種からの企業参入を促進し、農地の集積・集約化による力強い担い手の育成を進めます。

加えて、新規就業者の確保・定着に向け、これまでの研修費の助成等の支援策に併せて、Webサイトを通じた、パイプハウス等の遊休資産のマッチングによる初期投資の軽減を図るなど、日本一の担い手支援策を強化します。

また、農業経営の収益力を高めるため、水田の大区域画化や、スマート農機の導入支援等による生産性の向上を一層進めるとともに、県産麦等の品質向上や、本県オリジナル品種であるユリのプチシリーズ等のブランド力の強化を図るなど、生産者の所得向上に努めます。

さらに、主食である米については、全国に先駆けて、昨年度から生産拡大の取組を推進した結果、令和7年度米については、約3百ヘクタールの作付拡大が見込まれているところであり、今後、JAと連携して徹底的な技術対策を行うことで大幅な増産を図ります。

私は、食料の安定的な生産と供給に向け、市町や関係団体と連携し、これまでの取組を一層強化することにより、将来にわたって持続可能で、強い農業の育成に全力で取り組んでまいります。



Q3 防災・減災、国土強靱化の推進について

近年、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化し本県でも、水害を中心に被害が相次いでおり、対策の重要性が増し、今年1月には、八潮市において、下水道管の老朽化に起因した大規模な道路陥没が発生し、インフラの保全や維持管理の重要性が浮き彫りとなった。県民の生命・財産を守り、「安心して希望と活力に満ちた山口県」を実現するため、インフラ整備等による防災・減災、国土強靱化の推進に、今後どのように取り組むか、所見を伺う。

A 村岡副知事

「災害に強い県づくり推進プロジェクト」

近年、自然災害が激甚化・頻発化し、また、インフラの老朽化が急速に進む中、県民誰もが、安心して暮らし続けられる山口県の基盤を築くことが重要であると考えています。このため、「やまぐち未来維新プラン」において、「災害に強い県づくり推進プロジェクト」を掲げ、国の5か年加速化対策の予算も積極的に活用しながら、防災・減災、国土強靱化の推進に取り組んでいるところです。

こうした取組は、災害の未然防止や被害の軽減に著実な効果を発揮していますが、気候変動に起因する集中豪雨や、切迫する南海トラフ地震などによる大規模自然災害等から、県民の生命・財産を守るためには、今後も切れ目なく取組を進める必要があり、現行の5か年加速化対策を上回る事業規模とすることなどを、政府要望や全国知事会等、あらゆる機会を通じて国に訴えてきました。

こうした中、令和8年度からの5年を期間とする「第1次国土強靱化実施中期計画」が、先日、閣議決定され、事業規模は、「概ね20兆円強程度を目途とし、今後の資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映する」とされたところです。

また、実施中期計画においては、能登半島地震や八潮市の道路陥没事故などの教訓を踏まえつつ、国土強靱化

施策の更なる加速化・深化を図ることとされました。

私はこうした国の方針を受けて、防災・減災、国土強靱化のより一層の推進に向け、ハード・ソフト両面から、取組を強化してまいります。

具体的には、ハード対策として、ミッシングリンクの解消に向けた山陰道の整備、緊急輸送道路の橋梁の耐震化や、近年、甚大な被害が発生した厚狭川の河川改修などを重点的に推進、また、橋梁や下水道施設等の既存インフラの老朽化対策については、AIなどのデジタル技術を活用した予防保全型の維持管理への一層の転換を図るなど、より効果的・効率的に進めるとともに、引き続き、市町の取組を積極的に支援します。

次に、ソフト対策とし、全ての県管理河川を対象とした洪水浸水想定区域や、高精度地形情報を活用した土砂災害警戒区域等の指定を進め、市町と連携し、住民の避難行動に資する災害リスク情報の充実を図ってまいります。こうした取組を切れ目なく着実に進めるため、必要な予算の確保について、先日も政府要望を行ったところであり、引き続き、あらゆる機会を通じて国に訴えていき、県民の暮らしの安心・安全はあらゆることの基本であるとの認識の下、災害に強い県づくりに向け、インフラ整備等による防災・減災、国土強靱化の推進に全力で取り組んでまいります。

大阪・関西万博



6月10日：大阪・関西万博山口県館事務話題の大阪・関西万博に山口県も「ふくの国、山口」としてブースを設けており、山口県館事に参加しました。昨年には、山口市がニューヨークタイムズで紹介され、山口県の魅力を発信するチャンスを逃さず努めてまいります。



6月19日：私が教育後援会長を務める山口県宇部総合支援学校を藤崎宇部市長が視察。同校には約360人の児童・生徒と約220人の教職員がおります。その為災害時の避難支援や福祉避難所などを整備しました。



6月15日：慶進中・高の慶進祭。慶進中学校・高等学校の慶進祭が賑やかに開催されました。藤崎宇部市長も来校され、華を添えて頂きました。

(写真は順次掲載の予定です)



5月21日：宇部小野田清港会通常総会
48年の長きにわたり、宇部港・小野田港の清浄活動に取り組んでおられます。船舶が安全安心に航行できるのもこうした皆様のおかげです。



5月26日：山口県砕石協会総会
砕石は、道路などのインフラ構築に不可欠な資材。危険を顧みずご尽力頂いている皆様に感謝申し上げます。



5月29日：新茶贈呈式
宇部市小野茶業組合(藤田組合長)から村岡県知事への新茶贈呈式が行われました。今年は新しく玉露茶が製品化されました。



山口県はさらに博記念公園を中国地方最大級の規模となるフラワーガーデンに整備しています。



子育て日本一を目指す
山口県の目玉政策となる
「家族でやま学の日」で
子育ての楽しさを実感
できる山口県を実現



パーソナリティ・オフィス・オーブ代表

松原 淳子

Matsubara Atsuko



山口県議会議員

二木 健治

Futatsugi Kenji



教育の目玉政策「家族でやま学の日」

家族とともに校外で体験や探求を広げていただく「家族でやま学の日」

土日に働いている保護者の方にも、子育ての楽しさを実感できる「子育て日本一の山口県」を目指して



二木 「家族でやま学の日をご存知ですか？」

松原 「名前は聞いたことがありますが、詳しい内容は知りません。」

二木 「宣伝不足かもしれませんね。」

二木 「家族でやま学の日は、土日、祝日の学校休業日以外でも家族とともに校外で体験や探求の活動を企画して実行できる制度です。2024年6月中にすべての県立学校で開始されました。12月時点で於いて、高校で696件、総合支援学校で78件、小・中学校で4,279件実施されています。」

松原 「学校を休んでも出席扱いになるのですか？」

二木 「出席扱いでも欠席扱いでもありません。小・中学校ではインフルエンザなどの出席停止等と同様の扱いとなり、高校では欠課扱いとなります。年間3日間取得できます。」

松原 「どのような経緯で家族でやま学の日が創設されたのですか？」

二木 「私が委員長を務めた県議会の少子化人材育成確保対策特別委員会で、少子化対策の一環として村岡知事に提言し、実現しました。子育て日本一を目指す山口県の目玉政策にもなりますし、お金のかからない少子化対策といえます。」

松原 「確かにお金はかかりませんね。」

二木 「実は、土日に働いている保護者の方が3~4割いらっしゃいます。この人たちが、土日に子供たちと接することができません。そのため子供と触れ合い、子育ての楽しさをなかなか実感できない状況があります。そこで子育ての楽しさを実感してもらうために提言しました。」



松原 「県民の皆さんが分散して平日に休みを取れば、ゴールデンウィーク等の混雑の緩和にも繋がりますし、ホテルの料金等も安くなりお得ですね。」

二木 「土日の人手不足で悩むスーパー等お店にとっても助かりますし、観光業



界にとってもメリットがあります。」

松原 「家族でやま学の日」の趣旨が伝わり、定着すると良いですね。」

二木 「しっかり宣伝して参ります。」



「家族でやま学の日」のやま学とは？

山口県では「未来につながる家庭での体験的な学び・探究的な学びを応援する」ことを目的に「家族でやま学の日」を導入しています。「やま学」とは、「やまぐち型地域体験・探究学習」の略称。平日だからこそできる学校外での学習活動をお子さんと一緒に計画してみませんか。

※「家族でやま学の日」は、事前に申請手続きを行う必要があります。(原則として一週間前まで)

山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長

二木けんじ 県政NEWS

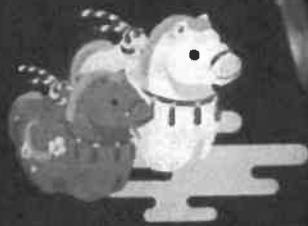
三世代が住み良い山口県づくり

新年おめでとうございます。
皆様には希望に溢れる
輝かしい新年をお迎える事と
お慶び申し上げます。

令和八年一月

元山口県議会副議長
山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長

二木 健治



「新世紀エQUESTRIAN」シリーズの聖地、JR宇部新川駅前に
作品をモチーフにした彫刻が2025年11月に設置されました。

さて昨年も、長期化するロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイルの発射、中国による尖閣諸島への領海・領空侵犯や台湾海峡の緊張等我が国を取り囲む地政学リスクがさらに高まりました。又、アメリカトランプ大統領による自動車等輸出品への関税の課税がインフレや買入れを招き世界経済に重大な影響を与えました。

国内では参議院選挙において自公政権が過半数割れし政治が不安定となりました。まさに混沌とする世相ですが、そんな中、高市早苗第104代内閣総理大臣が就任し、憲政史上初めて女性の総理大臣が誕生しました。喫緊の課題であるお米やガソリン等の物価高対策や子育て支援等女性の視点で課題解決に取り組んで頂けると期待しています。

さて、今年2月に山口県知事選挙が行われ、地の村岡知事が4期目の

立候補を表明されています。今、山口県が抱える大きな課題は少子化・人口減少の問題です。まち・ひと・しごこの好循環を作り、人口減少に歯止めをしなければなりません。その為に国のコンビナート再生型集積拠点として宇部市がGX特区の指定を受け、半導体やデータセンター等の企業誘致を行い、産業の振興や雇用の拡大を図らなければなりません。

自民党県連も県政与党として村岡知事を全力で支援して参ります。皆様のご理解ご支援をお願いします。

結びに、郷土の益々の発展と皆様のご多幸ご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

三世代が
住み良い
山口県づくり
Creating Livable Oyam



令和7年11月25日、令和7年12月12日

11月定例県議会

自民党代表質問 [抜粋] 2025.12.1

Q1 知事の今後の県づくり・県政運営に向けた決意について

令和4年に3期目の県政運営をスタートした知事は、コロナから県民の命と健康を守り抜き、大きく傷んだ社会経済を再生させることに加え、3つの維新の更なる進化を掲げて取り組み、県内の様々な分野で実を結んでいる。一方で、若者の転出超過と少子化の進行に歯止めを掛けなければいけない状況は待たないであり、同時に、人口減少社会に耐え得る、持続可能な社会システムへの転換を速やかに進めなければならない。知事は3期12年間の県政運営をどのように総括し、県民が未来に希望を持って安心して暮らすことができるよう、今後の県づくり・県政運営にどう臨もうと考えているのか、その決意を改めて伺う。

A：村岡副政知事

「安心と希望の山口県」の実現と、産業力をさらに高めた「力強い山口県」を創る。

私は、知事就任以来、山口県を将来にわたって元気にしたい、そして厳しい時代を勝ち抜く山口県を創っていく、との思いで、県民の皆様と共に、本県が直面する様々な課題の克服と活力の創出に全力で取り組んでまいりました。とりわけ、本県の成長の基盤となる産業力の強化に向け、私自ら先頭に立って、300件を超える企業誘致を実現し、新規投資額は、昨年まで2年連続で過去最高を更新しており、今年も昨年を上回る勢いで実績を伸ばしています。

最重要課題である人口減少への対応では、少子化対策の抜本的な強化を図り、第2子以降の保育料の無償化など、全国トップクラスの子育て支援策を実施するとともに、本県への移住を促進するため、希望者に寄り添ったきめ細かな支援に取り組み、移住者数は8年連続の増加となりました。さらに、こうした施策を確実に実行できるよう、徹底した行財政構造改革を進め、県債残高を2千億円以上削減など、持続可能な財政構造への転換を実現したところです。このように、3期12年にわたる県づくりの取組は、目に見える成果を確実に積み重ねてきたものと考えています。

しかしながら、国内外の社会経済情勢が急速に変化し、混乱が繰り返される中で、私たちは今、先を見通すことが困難な時代を迎えており、県政を取り巻く環境も、一段と厳しさを増しています。そのような中であっても、直面する課題に立ち向かい、山口県を守り抜き、そして、将来にわたって元気な県を創っていく、この重大な責務を引き続き果たしていかなければならない、私はそうした強い思いで、次期知事選挙への立候補を決意



いたしました。

私が目指すのは、第一に、県民の皆様が安心して暮らし、希望を持って働き、誰もが人生100年時代を豊かに歩んでいける、「安心と希望の山口県」の実現であります。何よりも、県民の皆様と暮らしを守り抜くため、本県医療の中核を担う県立総合医療センターの遷替と機能強化を進めるとともに、医療・福祉を支える人材の育成・確保、南海トラフ地震等の大規模災害に備えた防災・減災対策の強化などに取り組みます。また、希望に満ちた未来をつくるため、子育て家庭を全力で応援するとともに、子ども一人ひとりを守り、生きる力を育む教育の充実や、若者に魅力ある雇用の場の創出、県内のどこでも便利で快適な暮らしを実現するデジタル技術の社会実装などを一層推進いたします。

第二は、本県の強みである産業力をさらに高め、変化の荒波を乗り越えられる、足腰の強靱な「力強い山口県」を創り上げていくことです。特に、山口を飛躍させる活力を生み出すため、指定獲得を目指して準備中の、国のGX戦略地域及び国家戦略特区の活用等により、脱炭素関連の新事業を集積させ、半導体・蓄電池・医療関連産業等と共に、次代を担う「産業集積県やまぐち」を実現いたします。さらに、産業を支える人材の育成・確保や、地域を支える中小企業等の成長支援、生産基盤の整備やスマート化等による農林水産業の強化、山口デスティネーションキャンペーンを活かした観光産業の振興



元山口県議会副議長
山口県議会議員
自由民主党山口県連盟副会長

二木 健治

PROFILE

- 1955年9月20日宇部市東栗原生まれ
- 青山学院大学法学部卒業後大手ゼネコンに入社
- 現在、山口県議会議員(5期目)
- 環境福祉委員会、議会運営委員会

議会活動歴：山口県議会副議長、決算特別委員会委員長、文教警察委員会委員長、環境福祉委員会委員長、少子化・人材育成確保対策特別委員会委員長等

県議会環境福祉委員会「石川県の各施設を視察」

2025年9月2日～4日

- ・石川県こころの健康センター・ニッコー株式会社
- ・輪島KABULET(カブール)・B's行善寺・自然博物館ぬいの里

視察では、石川県能登半島地震の災害支援やこころのケアへの取り組みを中心に調査しました。石川県こころの健康センターでは、多様な心の相談に関する取組みや災害時のケア、輪島KABULETとB's行善寺では、能登半島地震の被災者支援の取組についてお聞きしました。特に災害関連死を防ぐ取組みは、参考になりました。

仮設住宅に抽選で入居する方法は公平・公正ですが、一方で住民を孤立させます。地域ごとに入居できればコミュニティが生まれ、災害関連死を防ぐ事が出来るとのことのお話は大変参考になりました。



なども進めます。また、国策への対応に当たっては、住民の安全で平穏な生活を確保する立場から、引き続き、国に対して「言うべきことは言う」との姿勢を堅持し、地元

意向を尊重しながら、適切に対処してまいります。これまで積み上げてきた県づくりの成果を土台に、本県をより高いステージへと押し上げ、県民誰もが豊かさで幸せを

感じられる山口県の実現を目指して、私は、これからも挑戦を重ね、全身全霊で県政運営に取り組んでまいります。

Q2 「強い経済」を実現する総合経済対策への対応について

11月21日に、約21兆円規模の総合経済対策が策定され、その実行を裏付ける補正予算案が、先般閣議決定されたところ。この度の経済対策の効果が、タイミングを逸さないよう、国民・県民の生活や事業活動に行き渡ることが非常に重要であり、自由民主党本部においては、政府に働きかけてきた。現在、我が自民党県連では県内の各地域や各界からの意見や要望を拝聴しているところだが、物価高・賃上げ対応への苦慮や、防災・減災対策の必要性、医療・介護を取り巻く厳しい現状などの切実な声を多く伺っている。この度の国の経済対策への対応に、県は今後どう取り組まれるのか、知事のご所見を伺う。



A: 村岡副知事

その効果を県民の皆様にお届けする。

本県においては、物価高が県民生活や企業活動の大きな負担となるとともに、物価高騰を上回る賃金引き上げの実現には至っておらず、県経済の回復を確かなものにするためには、これらの課題に対応した施策を強力に推進することが必要と考えています。

今年度においても当初予算で措置した44億円規模の物価高対策・賃上げ支援に加え、状況の変化に応じ、補正予算による追加の支援も行ってきました。こうした中、国の総合経済対策においては、「危機管理投資」と「成長投資」を進めるとの方向に沿って、様々な施策が講じら

れるとともに、「重点支援地方交付金」についても、大幅な拡充が図られたところです。県民生活や事業活動をしっかりと支え、成長型経済へと移行していくには、迅速に国の経済対策に対応し、その効果を県民の皆様にお届けすることが重要と考え、できるものから順次、予算を編成するよう指示したところです。

具体的には、厳しい経営環境に置かれている医療機関や社会福祉施設等に対し追加支援を行うとともに、中小企業等の安定的かつ継続的な賃上げに向けた環境整備に対する支援を検討しています。また、国において電気・ガス料金の負担軽減措置が冬場においても実施されることに呼応し、LPガス料金

等に係る追加支援を講じていく考えです。さらに、防災・減災・国土強靱化については、道路ネットワークの整備や社会インフラの老朽化対策などを拡充し、早期に事業着手・事業完了が図られるよう、取組を加速していきます。加えて、これら以外の対策についても、当初予算編成の過程を通じて引き続き検討を進め、産業力の強化、地域の実情に応じた物価高対策など、国の経済対策の効果が最大限に発現されるよう施策の構築を図ってまいります。私は、本県経済の好循環の実現に向けて、国の総合経済対策に的確に対応し、県民生活を支えるとともに、本県の経済活動を力強く後押ししてまいります。

Q3 産業力の強化について

高市政権の発足から、株価は5万2000円を突破し、その後も4万円台後半の高値を維持するなど、政権への期待が高まっている。総理は、「日本成長戦略会議」において、AIや半導体、GXなど17の戦略分野で官民連携の積極投資を促進するとしており、地方経済は物価高や人手不足など苦境にあるが、速やかな「強い経済」の構築を期待している。今、本県にはGX戦略地域への選定という大きなチャンスが訪れており、知事にはやまぐち丸のキャプテンとして本県経済を力強く牽引していただきたいと願っている。課題が山積する本県経済を前に、知事の3期12年にわたる実績を基盤として、産業力の更なる強化に取り組んでいただきたいと考えるが、所見を伺う。



A: 村岡副知事

「GX戦略地域」への選定は、本県経済を大きく伸ばす千載一遇のチャンス

人口減少や物価高、グローバルな経済政策の不確実性が進行する中、持続的な経済成長を実現するためには、本県の大きな強みであり活力源である産業力を強化していくことが極めて重要です。このため、私は、知事就任以来、企業誘致や県内企業の成長支援、コンビナートの国際競争力の維持・強化など、強靱な産業の構築に積極的に取り組んできました。まず、企業誘致については、私自ら先頭立って誘致活動を展開した結果、これまでに300件を超える企業誘致と約8千人の新規雇用が実現するなど、大きな成果を挙げています。また、県内企業の成長支援に向けては、「やまぐち産業イノベーション戦略」を策定し、半導体・

蓄電池、医療など10の産業分野を「重点成長分野」として掲げ、重点的・集中的な取組を展開してきたところです。特に半導体・蓄電池分野では、世界シェアを有する関連企業等が立地する強みを活かし、産学公の協議会や台湾経済団体との協力関係など、推進基盤を構築するとともに、日立ハイテクの新工場など関連産業の集積や、県補助制度による中小企業の事業拡大、大手企業との共同研究が進展しています。さらに、コンビナートの国際競争力の維持・強化に向けては、私が設立時から会長を務める「山口県コンビナート連携会議」の下で、低炭素化構想の策定や、セメント製造プロセスにおける世界初のアンモニア燃焼技術の実証事業など、様々な企業間連携の取組を生み出してきました。

このように、本県産業力の強化は大きく前進し

てきており、今後は、本県の優れた立地環境や優遇制度等を活かし、半導体やGX関連等の成長産業の集積促進、世界最先端のがん免疫療法や次世代半導体基板などの研究開発の促進、さらには、地域の雇用と経済を支える中小企業の成長支援などに一層強力に取り組んでいく考えです。特に、お示しの「GX戦略地域」は、脱炭素を契機に本県経済を大きく伸ばす千載一遇のチャンスであることから、本県を「世界で勝てるGX産業拠点」の最適地として提案することで、必ずや選定を勝ち取り、GX型コンビナートへの構造転換や新たなGX産業の集積を目指していきます。私は、県議会や経済界はもちろん、「強い経済」の実現を目指す国との一層の連携も図りながら、自ら先頭に立ち、本県産業の強みやポテンシャルを活かして、本県をリードする産業力のさらなる強化に全力で取り組んでまいります。

2025〔令和7年7月-12月〕活動報告



2025年7月29日 環境福祉委員会の県内視察
環境福祉委員会の県内視察。周南保健所では、野
犬対策に関する取組、鼓ヶ浦整肢学園では、障害
のある子どもへの医療について調査しました。



2025年8月5日 厚南4地区連絡協議会との懇談会
厚南4地区連絡協議会と地元県議会・市議会議員
との懇談会が開催され、同地区が抱える安全安心
づくりや交通渋滞の解消などについて協議しました。



2025年8月28日 農林水産委員会の視察
県議会農林水産委員会の視察で宇部市のビバ
ファームを視察。ICTを活用した太陽光利用型植物
工場でトマトを栽培されています。



2025年9月7日 宇部近郷柔道大会・県選抜少年柔道大会
第74回宇部近郷柔道大会並びに第22回山口県選
抜少年柔道大会が宇部市武道館で開催、県内各地
より48団体が参加し、熱戦が繰り広げられました。



2025年9月13日 山口県議会9月定例会
山口県議会9月定例会が開会。補正予算案など17
の議案が提出され、宇部市や下関市で被害が被災
した災害復旧事業など、しっかり審議して参ります。



2025年10月1日 山口県私学振興議員連盟定例会
山口県私学振興議員連盟定例会議が山口市のセント
コアで開催。それぞれの建学の精神に則った特色
ある教育の実現を、しっかり支援して参ります。



2025年10月18日 小月教育航空群隊60周年記念
小月教育航空群隊60周年記念行事が海上自衛
隊小月航空基地で行なわれました。日本の独立と
平和を守る為ご尽力頂きます様お慶い申し上げます。



2025年10月22日 自民党山口県連政策聴聞会
自民党山口県連政策聴聞会が山口市のセントコア
で開催されました。医療・福祉、環境生活関係12
団体から多岐にわたるご要望をお聴きしました。



2025年10月26日 茶道裏千家淡交会で挨拶
茶道裏千家淡交会青年部西中国ブロック研修会が
宇部市ときわ湖水ホールで開催されました。淡交会
宇部支部長として歓迎のご挨拶を申し上げます。



2025年11月5日 「防長英霊の塔」慰霊祭
山口県南方地域戦没者「防長英霊の塔」慰霊祭
に自民党山口県連県議団の一員として出席しま
した。



2025年11月17日 河川改修事業の促進を要望
宇部市の中川広域灌漑河川改修事業の促進について
山口県土木建築部千石部長に要望。現在は第2期区間
の工事が進められており、早期実現について要望しました。



2025年11月21日 農林水産委員会の視察
第66回全国竹の大会山口県大会が宇部市ときわ
湖水ホールで開催。山口県は全国第4位の竹林面
積があり、利活用すれば有効な資源となります。

